



みんなの幸せを築きます

平和堂は、社会に認められる会社になるために、「人」を大切にすることを目指しています。

5 ジェンダー平等を
実現しよう

8 働きがいも
経済成長も

16 平和と公正を
すべての人に

社内コミュニケーションの活性化

社内向け「平和堂コミュニケーションサイト」を開設!

様々な立場の社員が自由に情報を発信し、店舗や勤務時間、年代などを超えた人と人の繋がりを活性化し、オープンな職場環境を実現することを目的として、2019年4月1日より社内 SNS を開設しました。

開設にあたっては、サイトを利用する際の注意事項など運用ガイドラインの周知徹底を行い、健全なコミュニケーションの活性化を促しました。

▼自由にグループが作成できます。(一例)



アカウント取得数(2020年2月20日現在)

3,011名

新人事制度

人事制度を一新しました。大切にしたいのは「一体感」

全従業員が、各々の強みや個性を発揮し成長し続けられるような平和堂にしたい!! という思いから、2020年度スタートに向けて制度構築を進めてきました。

複雑に細かく分かれていた社員区分を2つのコースにすることで、一体感を持った職場環境の実現を目指します。

▶2つのコース

CDコース
Career Development

様々な経験を通じて能力や技術を開発しキャリアアップを目指す

SPコース
Social Partner

一人ひとりの今のライフスタイルに合った働き方で、ライフとワーク両方の充実を目指す

新しい人事制度の考え方

多様な人材がライフステージに応じて柔軟に能力を向上・発揮して安心して働き続けることができる基盤づくり



人材育成

知識・経験を発揮し、後進の育成に参画する風土の醸成

2019年度は「変化・変革の年」と位置づけ、変化に対応する「より強い個」の育成をテーマに教育を行いました。その中でも大きく2つの内容に取り組みました。

①自立的に学びを深め、チームメンバーの能力を向上できるリーダーの育成

2014年から開校した「経営者育成塾」を引き継ぎ、100年企業実現を担うリーダーの育成と、人間力を高めることを目的とした「リーダー塾」を新設しました。

経営理念と部下育成の重要性をより深く理解し、自らの学びをスタートする場としています。

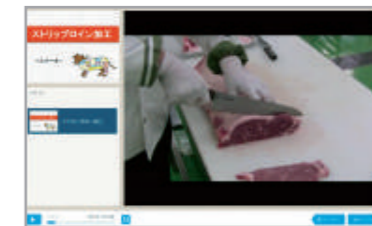
②画一的、網羅的な育成体系を基礎として、専門性の高い業務従事者に対して教育プログラムを導入

バイヤー・本部スタッフを中心に、担当業務の理解を深め、スキルを高められる教育機会を提供し、スペシャリストを育成しています。

業務遂行に必要な知識やスキルを明確にし、個人レベルの把握と新たな目標設定を促しています。

社内eラーニングを活用した教育の充実

IT やインターネットを活用した学習ツールである「eラーニング」を全社員に向け導入しています。パソコンやタブレット、スマートフォンを用いて、動画やテキストで分かりやすく学ぶことができます。また、メニューも「労務管理」から「生鮮食品のマニュアル」まで幅広く、充実した内容となっています。



▲eラーニング画面

平和堂創業者生誕100年記念DVD「夏原平次郎 あゆみ」

お客様の価値観やライフスタイルが刻々と変化していく中で、常に変化に対応しながら「変えてはならないもの」がある一方で、どのような状況にあっても「変えてはならないもの」もあります。それが、創業者の「思い」や「考え方」すなわち平和堂の経営理念です。平和堂が目指す「100年企業」を実現するためには、このような経営理念をしっかりと理解し継承していくことが大切であると考えています。

そこで、平和堂創業者である故 夏原平次郎の生誕100年を記念して、創業者が話している場面を中心とした記念動画を制作し、社員教育はもちろん、社外にご紹介するツールとしても活用しています。



▲DVD「夏原平次郎 あゆみ」

VOICE 取得者の声

アドバイザー取得が自信と責任感に

ワンランク上の加工技術や料理方法を学び、自身の知識やスキルを向上させたいと思い、挑戦しました。アドバイザー講座で学んだことを日々お客様に丁寧にお伝えしています。今ではマグロ解体ショーを実施できるようになりました。

フレンドマート竜王店 鮮魚
フィッシュアドバイザー 太田 ひろみ



お客様の食卓のサポートを

クッキングサポートではお客様から様々な問い合わせがあります。少しでもお応えできるようになりたいと思い受講しました。アドバイザー研修は試験があり大変ですが、学ぶことが多く勉強になりました。お客様とのトークにとても役立っています。これからも前向きにチャレンジしていきます。

アル・プラザ鶴見 クッキングサポート
スパイスアンバサダー 臼井 ゆか



多様な働き方の推進

多様な人材が活躍する職場づくり

女性活躍推進

女性キャリアアップセミナー

女性活躍推進の取組みとして「女性キャリアアップ研修」を開催しています。この研修は、職位に応じて初級編・中級編・上級編とステップアップできる教育体系を構築しており、2019年度は主任クラスの20名を対象に「中級編」を開催しました。

「管理職を目指すだけが女性活躍ではない」「現在の職位で活躍したい」という多様な働き方も尊重しながら、「性別に関係なく活躍できる会社」を目指し、今後取り組んでいきます。



▲女性キャリアアップ研修

VOICE 参加者の声

私らしく働くために

このセミナーでは、「話して、聴く」というテーマのもと、楽しさと真剣さを織り交ぜながら、みんなで積極的に参加させていただきました。改めて自身を客観的に見つめなおすことで、自分は何を求められていて、何をしたいのかについてしっかり考えることができました。

このセミナーで学んだことを、これからの考え方の軸として、今後も日々精進して参ります。

アル・プラザ富山 サービスセンター 池上 由紀子



ワークライフバランス

はとパパはとママセミナー

2019年度は滋賀(12月17日)、京都(12月18日)、石川(12月19日)の3会場でママ55名、お子様29名の合計84名に参加していただきました。



VOICE 参加者の声

感謝の気持ちを大切に

このセミナーに参加して、育児中の働き方の共有や子育て中のママ社員との交流、人事制度の説明などを聞き、いい刺激となりました。

サポートしてくれる家族や売場のメンバーさんに感謝をするとともに、仕事と育児の両立に努めていきたいです。

アル・プラザ富山 ドラッグ・SM 住岡 北川 智美



ライフプランセミナー

2020年1月30日(滋賀)、2月13日(京都)で50代の方を対象に、「健康」「定年退職」「老後の暮らし」「年金」をテーマに、ライフプランを考えるセミナーを開催しました。

2日間で82名に参加していただき、関心の高さを知ることができました。

VOICE 参加者の声

いきいき過ごすために

人生100年時代。私も半分が経過したあたりから残りの人生について意識をするようになりました。豊かな老後過ごすために、「健康」「定年退職」、その後の仕事、そして「年金」などわからないことがたくさんありました。

このセミナーでは、これから楽しく生きていくために、疑問を気付きに変えることができました。

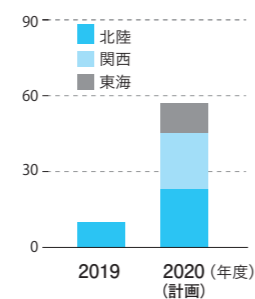
アル・プラザ栗東 デリカ 桃井 稔



多様な人材の活躍

平和堂の新たなメンバーとして、ベトナムから技能実習生10名を迎え入れました。デリカ売場で最長3年間、技能を学び、日本語を習得されます。2019年度の第1期生は北陸店舗に配属。明るく、ひたむきに業務に励んでおり、技能実習生の活躍で、店舗にもさらに活気が生まれました。今後も2府7県に受け入れを拡大していきます。帰国後、日本で学んだ技能や知識をどのように発揮していただけるか、とても楽しみです。

▶雇用状況



▲第1期生入社時の様子

いきいき働ける職場づくり

社員が安全に働ける職場づくり

安全・労働衛生

労働災害の防止

中央労働安全衛生委員会が主体となり、営業部門と連携し、全店的な労災対策を実施しています。2018年度は、鮮魚部門にカットガード(耐切創)手袋の導入、2019年度には「脚立」「踏み台」ルールの制定、熱中症予防対策、転倒対策、デリカ部門やけど対策等を実施しました。

その結果、業務上災害発生件数が16.5%減(59件減少)となり、年間の業務上災害による休業日数は昨年比40%減、それに伴う労働損失(MH)は昨年比37%減となりました。

【2019年度の取組事例】

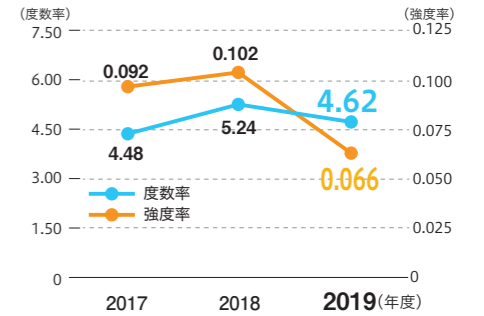
①墜落・転落対策

「脚立」「踏み台」ルールを制定し、使用頻度が最も高く、転落の危険性が高い80cm未満の脚立を廃止し、より安全に作業できる「踏み台」に変更しました。

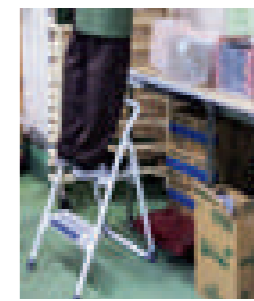
②転倒対策

- 1) 開店前の転倒事故が最も多く発生していた為、社長による「走らない」注意喚起アナウンスを放送したところ、開店前の転倒事故は大きく減少しました。
- 2) 転倒予防として、年齢や性別に関係なく誰でもその場でできる「つま先立ち体操」を産業医指導のもと作成し、eラーニングで紹介しました。

▶全部門労災 度数率、強度率

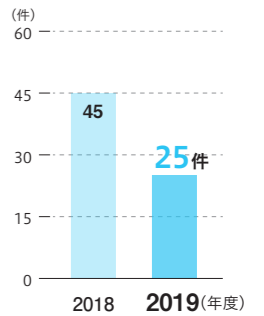


※度数率:100万延べ実労働時間当りの労災による死傷者数で、災害の発生頻度を表す。
※強度率:1000延べ実労働時間当りの労働損失日数で、災害の重さを表す。



▲踏み台使用例

▶鮮魚部門の切創労災件数の推移



・ステップが幅広で安定感がある
・ゴム使用のステップで滑りにくい
・上枠で足を支えられる

卒煙100人達成記念パーティ

社員一人ひとりの健康増進を図り、会社全体の健康経営に繋げるため、「卒煙」に取り組みました。この取組みの結果、卒煙の達成者が100人を超え、そしてこの卒煙達成者が中心となり、「卒煙の輪」を広げる「きっかけ」とするため、「卒煙100人達成記念パーティ」を開催しました。



▲卒煙100人達成記念パーティ

人権啓発活動

ハラスメントの防止

平和堂では、人権が尊重される職場風土の確立に取り組んでいます。

働きやすい職場づくりを推進するために、「ハラスメント」を理解し基本的な対応を学ぶ研修を実施し防止に努めています。新任として上位職に着任された方には、相談を受けた場合の対応などを研修しています。教育人事部内に相談窓口を設置しており、問題が起きた場合に解決へ向け丁寧に対応できる体制を整備しています。お客様に優しく、従業員がいきいき働ける企業を目指して取り組んでいます。

～管理職としての対応～

3-1 部下から相談を受けたら

①相談者と面談

- ・公正中立な姿勢で、どんな解決を望んでいるのか聴く
- ・面談する際は、必ずプライバシーが確保できる場所を準備
- ・秘密は絶対に守る

②事実関係の確認

- ・行為者と第三者へのヒアリングを行う
- ・**※必ず相談者の了解をとってから行うこと**

③対応の検討

- ・行為者、相談者への対応を検討する
- ・配置転換、関係改善の援助、職場環境の回復等

④フォローと再発防止

- ・相談者、行為者へのフォローを行う
- ・再発防止の対策を行う

HEIWADO

平和堂は「地域貢献」を理念として活動しています。

▲eラーニング画面「パワーハラスメントの防止」

ピカピカ実現活動

売場・サービスの質向上を 自発的に考え、知恵を出し合います。

お客様に感動を与えられるくらい際立った売場・商品・サービスの実現を目指して活動する「ピカピカ実現活動」。2019年度には、その活動内容の見直しを行い全員参加での取り組みを実施させるために、商品店長、次長は2か月に1回販売ミーティングで進捗確認を行うようにしました。

また、パートナー社員が積極的に参加するために、テーマの決定には全員の意見を吸い上げる仕組みにし、結果だけでなくプロセスも重視して良い取り組み内容のものにもスポットを当てるようにしました。優秀な活動を共有・水平展開するために、約1,000名が参加する全社発表大会を年2回実施しています。

▼順位は当日の最優秀発表賞



2 フレンド마트梅津店表彰



▲アル・プラザ鹿島発表風景

2019年度上期発表大会
参加グループ数(2019年10月9日実施)

1,283 グループ

2019年度下期発表大会
参加グループ数(2020年10月14日実施予定)

1,296 グループ

1 アル・プラザ鹿島表彰



3 アル・プラザ守山表彰

▶ 2019年度上期発表大会最優秀受賞6グループ

店名	売場名	グループ名	リーダー名	テーマ
アル・プラザ鹿島	グロサリー	グーグロ クリック	早川 健吾	アル・プラザ初 ニューグロサリー化のチャレンジ
フレンド마트梅津店	鮮魚	天然揃いの魚屋さん	前田 栄治	改装を向かえ、年間25億への挑戦！大きな目標へ鮮魚の役割を果たす！！
アル・プラザ守山	エルダー	モリモリ守山盛り上げ隊	平田 富士子	おもてなし地域一番店となり、客数UPに貢献する！
アル・プラザ醍醐	家庭用品・寝具 インテリア	くらしのフロア	藤田 奈緒子	チーム一丸でご奉仕高103%への挑戦
フレンド마트長浜平方店	デリカ	NHK46 総菜屋	寺脇 清彦	私は変わる！周りを変える！【夕方のご奉仕アップ】
ピバシティ平和堂	レディス	ピバのお祭りムスメたち	二宮 彩	リアル店舗の強みを活かそう！～目指せ模範売場～

PICK UP ピカピカ実現活動

魅力あるショッピングセンターづくりを目指して

2019年度上期大会では、ファッションショーを実施しました。

アル・プラザ富山では平和堂初の試みである衣料品・住居関連品売場をショップ形式に改装しました。その店内の様子をDVDにまとめて紹介するとともに、販売している商品をファッションショーで紹介しました。



平松社長もモデルになり、とても盛り上がったショーとなりました。



▲ピカピカ活動展示



VOICE 社員の声

店舗スローガン 「日本一のショッピングセンターにする」

今回アル・プラザ富山は「ショッピングインアル・プラザ」と総称し、21のショップに生まれ変わりました。ブランド業界の壁を壊し、百貨店・専門店の品揃えを充実させ、衣住複合MD^{※1}を構築しました。お客様からは「明るくなった」「おしゃれになった」といううれしいお言葉をいただいています。

初めての大きな改装のため従業員も戸惑いはありましたが、日々試行錯誤しながら少しでもお客様に支持していただき、喜んでいただけるショップになる為に奮闘しています。

アル・プラザ富山 衣住統括副店長 佐藤 さおり

※1 MD (マーチャンダイジング)
商品化計画。製品や顧客動向、トレンドなど様々な調査分析を行うことで、商品開発から販売計画立案まで一括管理すること。



▶ 2019年度下期発表大会(2020年10月14日実施予定)

店名	売場名	グループ名	リーダー名	テーマ
アル・プラザ草津	レディス	レディスチーム	村中 奈都子	地域一番のレディス売場へ！ S/A・品揃え改善
今津店	グロサリー	チームグロサリー	清水 諒平	「地域へのお役立ち」～地元商品の売り込み再強化
フレンド마트上笠店	鮮魚	上笠のフィッシュ	桑原 竜	「チーム上笠！今日のおかずは魚で決まり！！毎日のメニューを心を込めてお手伝い」
アル・プラザ醍醐	レディス・専門店	ダイゴのコーディネイター	久保 詩歩	接客に没頭し、レディスの顧客様獲得！！
フレンド마트南郷店・スーパーフレンド大石店	デリカ	南郷惣菜亭	今村 聖奈	お客様に目につく売場を！
フレンド마트・G宇治市役所前店	サービス	げんきっこ	松本 奈穂美	お・も・て・な・しGのファンを作ろう